

機械保全技能検定 3 級(国家検定)

機械保全技能士とは、工場などに設置されている機械のメンテナンスを行う能力を持つものを認定する国家試験です。機械保全の職種には、「機械系保全作業」・「電気系保全作業」・「設備診断作業」の3つがあります。

本校では、機械保全技能検定 3 級の「機械系保全作業」、「電気系保全作業」の合格に向けて、放課後、学科および実技試験の対策講習会を実施しています。

試験内容

学科試験と実技試験があります。実技試験の詳細は、下記の通りです。

1. 機械系保全作業(実技試験)
 - 工具・測定器の判定、潤滑油の判定、軸受・ねじ・キー・ピン・密封装置の判定、空気圧装置の判定、提示された弁の写真について、種類と部位名を判定する。試験時間:時間 10 分
2. 電気系保全作業(実技試験)
 - A. 指示された仕様に基づき、試験用盤にリレーとタイマを用いて、入力 2 点及び出力 2 点の配線作業を行い、回路を完成させた後、作動させる。
 - B. 指示された有接点シーケンス回路の変更を行う。
標準時間 50 分 打切り時間 60 分 (A 及び B 合計)
 - C. 与えられたリレー及びタイマを回路計(テスタ)及び試験用盤を用いて点検し、解答用紙に記入した後、有接点シーケンス回路を点検修復する。
標準時間 30 分 打切り時間 50 分

試験日程

1. 受験申請受付：4 月
2. 実技試験：7 月
3. 学科試験：6 月～8 月
4. 合格発表：8 月

受験料

1. 学科試験：4,000 円
2. 実技試験：10,000 円

その他

合格した場合、「[社団法人全国工業高等学校長協会](#) ジュニアマイスター顕彰制度」において、7ポイントが取得できます。